



あきら

令和8年 新年のご挨拶

P 2・3

第2回 脳外科感謝祭開催…………… P 4・5
 回復期病院 イベント紹介…………… P 6・7
 院内 BLS を開催しました…………… P 8
 医療事務の紹介…………… P 9
 地域医療を支える 医師会会員病院紹介…………… P10・11
 みんなの掲示板…………… P12



令和八年

新年のご挨拶



いちき串木野市医師会

会長 新山 豪一

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。いちき串木野市医師会を代表してご挨拶を申し上げます。

いちき串木野市は現在人口が二十年で約七千五百人減の二万五千四百人で高齢化率は三十九・七五%であり、少子高齢化で超高齢の独居者も増えています。そこで市は人口減少、少子高齢化対策を最重要課題とし、保育・給食・子供医療費の無償化などの対策を行い、当医師会としましても平成二十八年度から行政、歯科医師会、薬剤師会と協力し、地域の皆様が住み慣れたご自宅で自立して健やかな生活が送れますように、いちき串木野市医師会立脳神経外科センターを中心として、治す医療から治し支える医療へと地域包括ケアシステムを構築してきました。昨年十月いちき串木野

市市制二十周年の盛大な記念式典が開催され、当医師会はコロナ禍での新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種体制構築に尽力したことで、特別功労部門市民表彰を受賞致しました。当市はここ二年間、転出者よりも転入者が多いとても喜ばしい変化があります。

いちき串木野市医師会立脳神経外科センターは昭和六十二年の設立以来、鹿児島大学医学部 脳神経外科教室 教授 花谷亮典先生、令和元年度から同医学部 リハビリテーション医学教室 教授 下堂蘭恵先生の強力なサポートを頂きながら、脳卒中ならびに脳神経疾患の患者様の最先端の急性期医療と回復期医療までの切れ目ないリハビリテーションを行い、ご自宅での生活が可能になるように様々なご支援を行っています。

また当センターは令和六年五月から小児の頭位性斜頭に対するヘルメット矯正治療である「あたまの形外来」を開設しました。これまでに県内各地から百五十一例の乳幼児の受診があり、治療成績は八十四%が改善であり積極的に診療の情報発信を行っています。

本年の干支は丙午（ひのえうま）です。丙午の年は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年」になると言伝えられています。いちき串木野市のこれからの個性ある地域創生に向けて、人口減少の克服と地域の活性化が重要になると考えています。そして県近隣市町村との緊密な連携による医療介護連携など二〇四〇年の新しい地域医療構想に向けて、鹿児島県が掲げる「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」の実現を目指し当医師会も尽力したいと考えています。

本年度も院長 石丸浩一先生をはじめ職員、医師会会員一同、地域の皆様に安心安全をお届けし、また支えとなる心強い医師会病院として地域医療に貢献する所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様へ感謝の思いを込めて

第2回 脳外科感謝祭開催

令和7年11月16日(日)に、「脳外科感謝祭」を開催致しました。昨年に引き続き、2回目となりました。今回も院長講話や外部よりコンチネンスメンバーをお招きし、排泄ケアに関する展示品や講演を行って頂きました。近隣住民の方や、職員とその家族、いちき串木野市関連施設のスタッフの方々等、総勢で100人を超える方々に来場して頂きました。また、当院の看護師が「アロマブース」を出店し、ハンドマッサージを行いました。来場者とスタッフがたくさんの笑顔に溢れ、「楽しく、リラックスしたイベント」を設けることも出来たので良かったと思います。

飲食ブースとして、キッチンカーやお弁当屋さんに出店していただき、お弁当や飲み物を求める来場者で賑わいをみせ、完売するほどの大盛況でした。出店にご理解・ご協力頂いたキッチンカー、お弁当屋さんにも、大変感謝致します。

脳外科感謝祭を通して「少しでも多くの方に脳外科を知って頂く」ことを目的として開催しました。「たくさんの笑顔がみられ、楽しかったです、ありがとうございました」の言葉を頂けた時が、開催して良かったと思える瞬間でした。

医療・介護ともにいちき串木野市を代表し「選ばれる病院」の更なる高みを目指していくために、今後も職員一同頑張っていきたいと思えます。

脳外科感謝祭 プロジェクトリーダー リハビリ部 三角 裕太



回復期病棟 イベント紹介

令和7年度
回復期病棟運動会



2025年10月25日(土)、当院回復期病棟にて運動会を開催しました。



開会式~ラジオ体操

運動会開会に向けて
みんなで士気を高めて
やる気十足です!!

~プログラム~

- 開会式
- 選手宣誓・ラジオ体操
- お手玉入れ
- 綱引き
- お菓子大好き競争 (患者様)
- 借り物競争 (スタッフ)
- 紅白リレー (患者様)
- 閉会式

綱引き

リハ部 VS 看護部による
模擬戦🔥
患者様からの声援を受けて
一歩も引かぬ激闘を
繰り広げました。

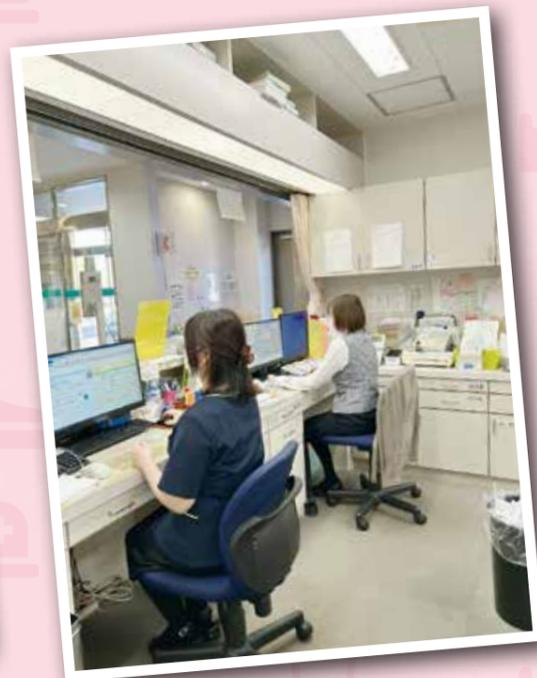


借り物競争

スタッフによる
借り物競争!!
患者様に協力して頂き、
様々なお題に沿って精一杯
頑張りました!!



医療事務ってどんな仕事？



医療事務とは

病院やクリニックなどの医療機関で事務作業全般を担当し、運営を支える仕事です。医師や看護師のように直接医療行為は行いませんが、患者さんが安心して医療サービスを受けられるようサポートする重要な役割を担っています。

〈主な仕事内容〉

・受付、会計業務

来院した患者様の保険内容（資格確認証又はマイナンバーによる確認）確認や初めての方の登録、問診票の案内など。
また、診療が終わった患者様の医療費の計算をし、会計を行う。

・レセプト業務

患者様が支払う医療費は一部負担金であり、残りの医療費は保険者に請求する必要があるため、毎月患者様ごとの診療内容に基づき「医療報酬明細書（レセプト）」を作成し、審査支払機関に提出して医療費を請求する業務。

業務では正確かつ迅速な処理が求められ、患者様へは笑顔と思いやりをもって安心感を与えられるような対応を心がけています。

院内BLSを開催しました

BLS（一次救命処置）について

令和6年度、7年度の新入職員16名を対象に院内BLS開催いたしました。
BLSは医療従事者として必要不可欠な知識技術です。実際にそのような場面に遭遇した際に、焦らずに対応するためには日頃からの訓練が大切です。今回は外来看護師のBLSインストラクターが講師となり研修を行いました。

現在日本で、病院外での突然の心停止による死亡、いわゆる心臓突然死は年間9万人に及ぶといわれています。その数は交通事故死者数の15倍以上であり、単純計算で、毎日250人の人が突然命を奪われていることとなります。心臓突然死は年々増加傾向にあり、実は日本はAED大国と呼ばれるほど世界でも人口当たりのAED設置台数が多いのですが、AEDによる救命率はまだまだ低い状況です。人間の脳は2分以内に心肺蘇生が開始された場合、救命率は90%以上であるが、4分では50%、5分では25%程度にさがると、一般に言われます。秒単位での処置の速さが生存率に直結するという心停止の救命。AEDの効果的な設置と正しい救命法の普及が求められています。そこで必要なのが1次救命処置、：Basic Life Support 略してBLSです。特殊な器具や医薬品を使わずに用いる救命処置で有り、胸骨圧迫と人工呼吸からなる心肺蘇生法、そしてAEDの使用を主な内容としています。院内においては患者さんが突然心停止や、呼吸停止となった場合すべての職員が一次救命処置を知っておくことは医療機関として重要です。適切な実施により救命率を上げることができるスキルでもあります。継続的な研修を行うことで蘇生技術の向上を図り院内全体のスキルアップへつなげることを目的としています。

参加者は胸骨圧迫のテンポや深さなど何度も繰り返し実践しマスターしていました。全員積極的に取り組む姿勢が印象的でした。研修終了後のアンケートでは、「実践してみて流れや対応がわかってきた」、「そのような場面に遭遇したら率先して行いたい」など一次救命に対するポジティブな意見が多くあり、有意義な研修となりました。





医療法人星海会 牧野医院



◆ 内科

院長名 / 牧野 虎彦
 住 所 / いちき串木野市羽島 3554
 電 話 / 0996-35-0017
 診療時間 / 【月・火・金】
 午前 9:00～12:30
 午後 14:00～18:00
 【木】
 午前 9:00～12:30
 午後 16:00～18:00
 【土】
 午前 9:00～12:30
 午後 14:00～17:00

休診日 / 水曜、日曜、祝日

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	×	○	○	○	×
午 後	○	○	×	16時から 18時まで	○	14時から 17時まで	×

当院は、串木野市街地から西へ8 km。薩摩藩英国留学生渡欧の地、羽島にあります。昭和28年、先代牧野一虎が開院。わたくしが継承し28年が過ぎました。羽島・土川地区も人口が激減し、羽島小学校も38名。いかにして若い人の定住を進めていくか、いろいろ取り組みを行っております。2014年7月に薩摩藩英国留学生記念館も開館し、江戸時代にロシアへ漂流し、露和辞典を編纂した、コンザの出身地の可能性もあり、羽島崎にゴンザ神社も建立しました。地域活性化に一役買っております。牧野医院も、父が培ってきた、地域の方々との触れ合いを大切に、患者の目線に立った医療を提供してまいります。無床クリニックで、設備も不十分ですが、これからも地域のかかりつけ医として、いちき串木野医師会の先生方と連携し、地域住民の健康管理を行っていきたくと考えております。

医療法人静和会 みなと病院



◆ 精神科・神経科・心療内科

院長名 / 福崎 秀一
 住 所 / いちき串木野市湊町1丁目208番地
 電 話 / 0996-36-2126
 診療時間 / 【月・火・水・木・金】
 受付時間 午前 8:30～11:30
 診療時間 午前 9:00～12:00
 受付時間 午後 12:30～16:30
 診療時間 午後 13:00～17:00
 【土】
 受付時間 午前 8:30～11:30
 診療時間 午前 9:00～12:00

休診日 / ※第2・5土曜は休診、その他の土曜午後日曜・祝日・盆・年末年始

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	○	○	※ 上記の通り	×

当院は、昭和35年に「市来保養院」と称し開業、平成19年12月に病院の全面改装を果たし、病院名も「みなと病院」へ改称しました。「みなと病院は、患者様の心を癒やし、社会復帰をしていく“みなと”でありたい。」という思いからつけた名称です。
 理念「Life&Professional」を掲げていますが、ここでいう“Life”は、「患者様の生命・生活・人生」「Professional」は、「専門職集団としてチームワーク・知識を高め“Life”をよりよいものにする努力を続ける。」といった意味です。大きな理念ですが、「小さなことからコツコツと」積み重ね地域の精神科医療に貢献できるよう努力してまいります。
 入院診療：精神科一般病棟50床・精神科療養病棟60床・認知症治療病棟40床。一般的な精神科治療に加え、精神科作業療法など非薬物療法も多く取り入れています。
 外来診療：精神科医師の診療、心療内科医師による専門外来。精神科デイケア・精神科訪問看護・医療福祉相談による患者様の地域生活支援体制も整えています。
 お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。

医療法人杏林会 丸田病院



◆ 内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・リハビリテーション科

院長名 / 藤田 俊浩
 住 所 / いちき串木野市旭町83
 電 話 / 0996-32-2263
 診療時間 / 【月・火・水・木・金】
 午前 9:00～12:30
 午後 14:00～18:00
 【土】
 午前 9:00～12:30

休診日 / 日曜・祝日・土曜午後

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	○	○	×	×

当院は、市街地の静かな場所に位置し、内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・リハビリテーション科を中心に、生活習慣病に関する人間ドックも行っています。鹿児島大学病院からは、定期的な肝臓内科・消化器内科医が勤務しております。
 医療に加え、介護も理学療法士・作業療法士による維持期リハビリに努め、さらにリハビリが必要な患者様は、老人保健施設（ライフハーバーいちき）に入所して在宅復帰を目指していただいています。介護で一時的にお困りの際は、短期入所のご利用も可能です。
 グループホーム（あんずの家）は、一般の生活を楽しみながら、介護度が高くなった時は、病院または老健施設をご利用いただいています。
 連携に関しては、脳血管障害が疑われた時には脳神経外科センターに、他の病気の時は高度で適切な治療のできる医療機関への紹介を行っております。
 また、地域における病院の役割を果たし、利用者様中心の医療・保健・福祉を実現するために、同じグループの社会福祉法人慈恵会と共に質の高いサービスの提供を目指しています。
 医療から介護まで、どうぞお気軽にご相談ください。

医療法人賞信会 まきのせ泌尿器科



◆ 泌尿器科（人工透析）・腎臓内科

院長名 / 牧之瀬 信一
 住 所 / いちき串木野市照島6050番地
 電 話 / 0996-33-0122
 診療時間 / 【月・火・水・金】
 午前 9:00～12:30
 午後 14:00～18:00
 【木・土】
 午前 9:00～12:30

休診日 / 日曜・祝日・木曜午後・土曜午後

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	×	○	×	×

おしっこの悩み、健診の「異常」、そのままにしていませんか？

いちき串木野市民の皆様、こんにちは。「まきのせ泌尿器科」です。
 「トイレが近い」「夜中に目が覚める」「尿が漏れる」といったおしっこの悩みは、年齢や性別を問わず多くの方が経験されます。「恥ずかしくて相談しづらい」と我慢せず、ご相談ください。当院では泌尿器科専門医が、頻尿・尿漏れから、男性の前立腺疾患まで幅広く診察いたします。プライバシーに配慮し、安心して話せる環境を整えています。
 また、当院では腎臓内科の診療も行っています。健康診断で「尿たんぱく」や「腎機能の低下」を指摘されたことはありませんか？腎臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、自覚症状がないまま病気が進行することがあります。放置すると将来的に透析が必要になることも。専門医による早期診断と治療で、大切な腎臓を守りましょう。
 おしっこの異常は、腎臓の病気のサインかもしれません。皆様が健やかで快適な毎日を送れるよう、地域のかかりつけ医としてサポートいたします。気になる症状や健診結果があれば、お気軽にご相談ください。

みんなの掲示板

屋内消火栓競技 2年連続優勝



令和7年10月29日いちき分遣所訓練場で、「第20回自衛消防隊対抗防火大会」が開催され当院から4名の職員が出場しました。

競技は「屋内消火栓」「屋外消火栓」の2種目で行われ、どちらも優勝という好成績を収めました。

今後も院内の防災意識を高め、災害時に迅速かつ安全な対応ができるよう職員一同取り組んでまいります。

【参加者】 リハビリテーション部
中村、阿部、前田
臨床検査部
十田

ホームページリンク先

公益社団法人
いちき串木野市医師会



いちき串木野市医師会立
脳神経外科センター

